

## 三菱バス乾燥・暖房・換気システム (壁掛タイプ)

形名  
**V-111BKA-RN**

**バスカラット**

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

- 本製品は住宅用です。業務用途ではご使用できません。
- 取付工事を始める前に、この取付工事説明書をよくお読みください。
- 取付工事は、販売店・工事店さまにおいて有資格者である電気工事士の方が実施してください。(お客さま自身で工事しないでください。無資格者の電気工事は法律で禁止されています)

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問合せください。(本製品は(社)日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております。)

- 別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

## 安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

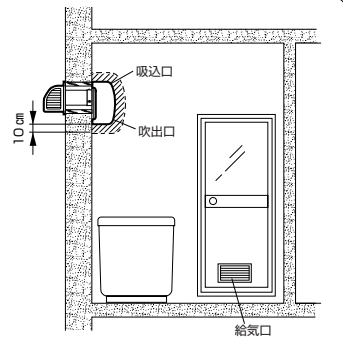
<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
<b>警告</b>	<p><b>内釜式風呂を据付けた浴室には取付けない</b></p> <p>排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。</p> <p><b>改造や必要以上の分解はしない</b></p> <p>火災・感電・けがの原因になります。</p> <p><b>交流100Vを使用する</b></p> <p>直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります。</p> <p><b>メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取付ける</b></p> <p>漏電した場合、発火の原因になります。</p> <p><b>アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を設ける</b></p> <p>故障や漏電のときに感電の原因になります。</p>	<b>注意</b>	<p><b>直接炎のあたるおそれのある場所には取付けない</b></p> <p>火災の原因になります。</p> <p>本体は十分に強度のある所を選んで確実に取付ける</p> <p>落下により、けがをするおそれがあります。</p> <p><b>電源コードの接続は確実に進行</b></p> <p>不確実な接続は接続部が過熱して発火するおそれがあります。</p> <p><b>配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う</b></p> <p>接続不良や誤った配線工事は感電・火災のおそれがあります。</p> <p><b>衣類下げ用パイプ(市販品)は、本体から450mm以上離して取付ける</b></p> <p>本体に近づけすぎると、衣類が変色・変質したり、十分な衣類乾燥効果が得られないおそれがあります。</p> <p><b>部品の取付けは確実に進行</b></p> <p>落下により、けがをするおそれがあります。</p> <p><b>取付けの際は手袋を着用する</b></p> <p>着用しないと、けがをすることがあります。</p> <p><b>取付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る</b></p> <p>絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。</p>

## 取付け前のお願い

- この製品は、戸建て住宅の浴室の壁面取付け専用です  
集合住宅でのご使用、浴室以外の場所への設置、天井面への取付けはしないでください。  
法規制に適合しないことがあります。
- 製品の質量は約9.3kgです  
取付ける壁面や既設の換気口(木枠)が十分に強度のあることを確認してください。  
状況によっては補強工事や追加の部材が必要になることがあります。
- リモコンは浴室にも設置できますが、浴槽の上や直接お湯や水がかかる場所には取付けしないでください  
故障の原因になります。
- 浴室の標準適用サイズは1坪タイプ用(1.6m×1.6m)です  
浴室が広くなると、暖房・乾燥効果が減少します。
- 強い振動や衝撃を与えないでください  
ヒーターが破損し、感電・けがの原因になります。
- 製品の取付けには、下記の規制がありますので、あらかじめご確認ください
- スチームサウナ付の浴室には取付けしないでください  
高温のため故障の原因になります。
- 効果的に換気するため給気口を設けてください
- 高温(40℃)以上になるところに取付けしないでください  
高温では温度ヒューズが熔断して使えなくなります。
- 温泉の浴室やプール等で使用しないでください  
故障の原因になります。
- 本体を傾けて取付けしないでください  
ヒーターの寿命が短くなったり、故障の原因になります。
- 有機溶剤やスプレーを使う場所には取付けしないでください  
故障の原因になります。

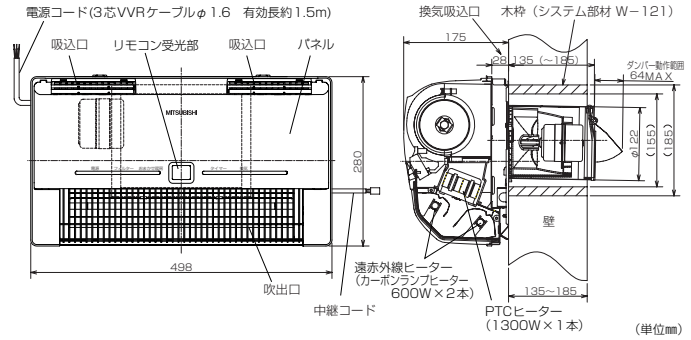
地域により防災上の制限(火災予防条例に基づく指導)が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署へお問い合わせください。

- 指定する寸法で設置すること。
- 本体は壁面に堅固に取付けること。
- 浴室内への温風吹出口および空気吸込口前方10cm未満の範囲内には造営材など(乾燥する衣類を含む)を設けない。
- 漏電しゃ断器を設けること。
- 浴室換気扇からの取替の場合、漏電しゃ断器の電流容量(20A)と電源電線の太さ(φ2.0mm)を確認し、不適合の場合は交換してください。

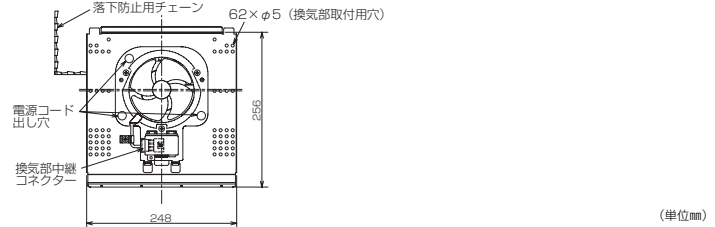


## 各部のなまえと寸法 (外形寸法図)

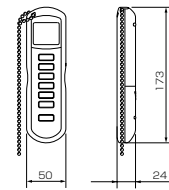
### ■本体



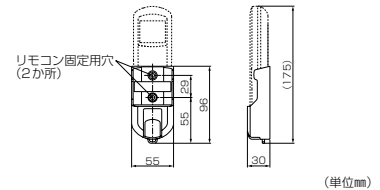
### 換気部詳細



### ■リモコン



### ■リモコンホルダー

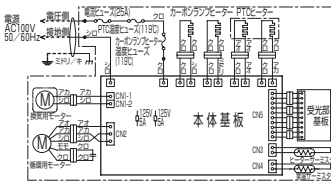


●お願い リモコンは生活防水(JIS C 0920 保護等級5相当)となっていますが、浴槽の上や直接水がかかる場所には設置しないでください。

### ■付属品



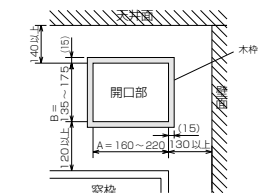
### ■結線図



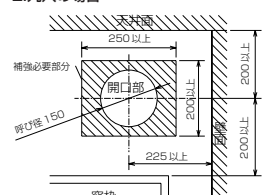
### ■設置可能な開口位置・寸法 (単位mm)

※下記は壁面・天井面より本体まで100mm確保できる寸法となっています。

#### 1. 木枠の場合



#### 2. 丸穴の場合



### ■現地で準備していただく部品

AC100V 電源電線	600V 定格、VVFケーブルφ2	適宜
アース線	銅線直径φ1.6以上(または断面積が1.25mm <sup>2</sup> 以上)	適宜
アース棒		適宜
屋外ウェザーカバー	P-12CVP	適宜
防水ジョイントボックスまたは防水コンセント		1個
木枠	W-121	適宜
衣類下げ用パイプ	耐荷重4kg以上 不燃性、耐食性のあるもの	適宜
		アース工事も 外壁面取付け用 本体取付け用(角穴取付の場合) 衣類乾燥用

# 取付方法

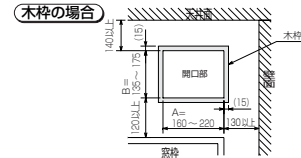
## 1 取付け前の準備

### 既存の換気口を利用する場合

- 1 既設の換気扇または換気ギャラリを取りはずす
- 2 右図に示す開口があることを確認する
  - 開口は天井や壁面から所定の位置が確保できていることを確認する。
  - 施工できない場合や法規制を満足できない場合があります。

### ■設置可能な開口位置・寸法 (単位 mm)

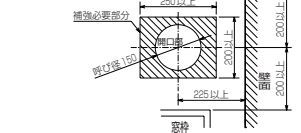
\* 下記は壁面・天井面より本体まで100mm確保できる寸法となっています。



### 新規に開口をあける場合

- 1 ヒーターの輻射が洗い場側に向くように開口の位置を決める (例: 洗い場より中央付近)
  - ヒーターの輻射角は垂直面に対し約45度です。
- 2 浴室の壁面に角穴または丸穴をあける
  - 角穴の場合は、当社システム部材の木枠 (W-121) を使用する。製品質量約9.3kgのため、木枠は浴室の壁面にしっかりと固定してください。
  - 木枠の取付けは木枠の説明書をお読みください。
  - 丸穴の場合は壁厚に応じて接続パイプ (呼び径150) をご用意ください。

### 丸穴の場合



### 警告

メタルス張り、ワイヤス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤス、金属板とが電気的に接触しないように取付ける。漏電した場合、発火の原因になります。

### 注意

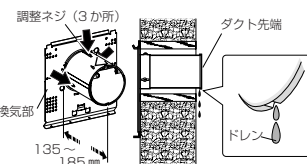
- 製品の下方には耐熱温度の低い物が配置されないように設置する。ヒーターの熱により変形や変色するおそれがあります (照明: 窓枠・檜等)。
- 浴室の壁の耐熱温度が低い場合は、製品側面と浴室の壁の距離を十分に確保する。ヒーターの熱により変形や変色するおそれがあります。

壁厚 > 185	一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448)	呼び径 150
壁厚 ≤ 185	塩化ビニル管の薄肉 (VU)、または一般配管用ステンレス鋼管 (JIS G 3448)	

- 使用する接続パイプにより開口寸法が異なります。
- 雨水の浸入等を防ぐため壁穴とダクトとのすき間のコーティングは確実に行ってください。
- 背面は十分な補強を行ってください。
- 壁厚 > 185 mm の場合は屋外に向けて下り勾配になるように 1/100 の傾斜をつけてください。(雨水の浸入防止)

## 2 換気部の取付け

- 1 壁厚に合わせてダクト部分の調整ネジを緩めて調整し、ネジを固定する (壁厚 135 ~ 185mm の間は調整可能)
  - ダクトの先端が屋外側に出るように位置を決める。
  - 位置決め時に生じる長穴のすき間、パイプのあわせ部のすき間はアルミテープ (市販品) でふさぐ。



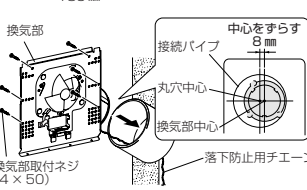
- 2 落下防止用チェーンを開口部に通し、換気部を取付ネジ6本で固定する

### 角穴の場合

- ネジ締め時の位置は、なるべく木枠の厚みに対し中央にある穴を使用して取付ける。
- 木枠に付風の取付ネジを使用する。

### 丸穴の場合

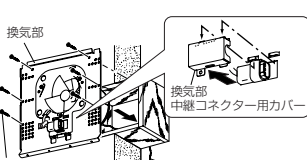
- 取付ける壁面は十分な補強を行ってください。
- 丸穴の場合は電源コードを通すため、開口穴の中心をずらして (約8mm) 取付ける。
- 付属の取付ネジを使用する。
- 壁がタイルの場合はタイルが割れないよう目字にステンレス製のタイル用のネジ (市販品) 6本で固定する。



### 角穴・丸穴共通

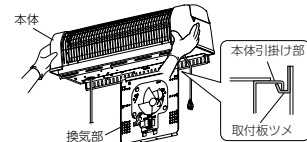
- 外気逆流防止のため、不要な穴はアルミテープでふさぐ。
- 水平に取付ける。本体が傾くとヒーターの寿命が短くなったり、故障の原因になります。

- 3 換気部中継コネクタ用カバーを取りはずす

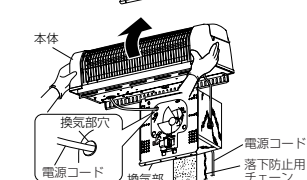


## 3 本体の取付け

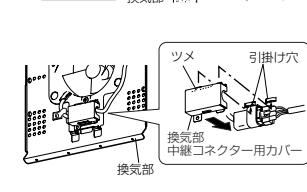
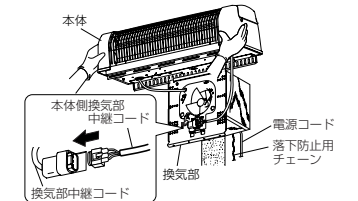
- 1 本体の引掛け部を換気部の上部ツメに引掛ける
  - 本体は左右200mmスライドできます。適切な位置を確認します。
  - 本体が換気部からはみ出さないように引掛けます。
  - 確実に引っ掛けていることを確認します。



- 2 本体を手前に持ち上げて、電源コードを換気部の穴に通して押し込む
  - 本体を手前に持ち上げる際、手をかける位置によっては、本体が傾く場合があるのでバランスのよい位置を選んで持ってください。

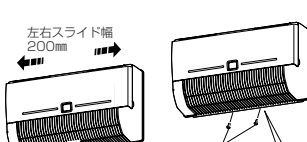


- 3 本体を手前に持上げた状態で、本体側の中継コネクタを換気部側の中継コネクタに差し込む
  - カチッと音がするまでしっかり挿入する。



- 4 換気部中継コネクタ用カバーを取付ける

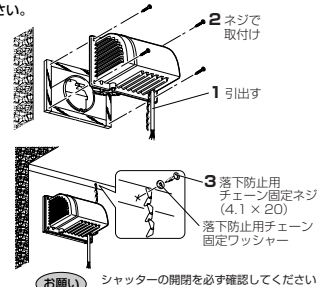
- 5 本体下部と換気部を付属ネジ2本で固定する
  - 本体を換気部に降ろす際、電源コードがかみ込まないように注意する。
  - 本体のスライド位置により、ネジ固定位置が異なります。



## 4 ウェザーカバー (システム部材) の取付け (屋外側)

雨水の浸入を防ぐため、ウェザーカバーは必ず取付けてください。

- 1 ウェザーカバーのコード穴から電源コード・落下防止用チェーンを取り出す
  - コード穴が小さい場合は、別途穴あけが必要です。
- 2 外壁面側にウェザーカバーをネジで取付ける
  - くわしくは、ウェザーカバーの説明書をご覧ください。
- 3 外壁面側の補強された部分に落下防止用チェーンを取付ける
  - 落下防止用チェーンは、ワッシャーにネジを通して木枠以外のかかり補強された部分に取付ける。万一のための落下防止用です。
  - 落下防止用チェーンは、たるまないように取付ける。



シャッターの開閉を必ず確認してください。障害物 (ウェザーカバーのしきり板など) がある場合は取り除いてください。

## 6 電気工事

- 電源接続は必ず屋外側で行う。
- 電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続する。
- 漏電しゃ断器は20Aのものを使用する。
- プラグの使用、コンセント部分への差し込みはしない。
- フラッシュを経由した電源の接続はしない。
- 壁スイッチの焼損や本体の誤動作、故障の原因になります。
- D種接地 (アース) 工事を確実に行う。
- 付属の電源コードの白色線を屋内配線の接地側に接続してください。
- 屋内配線に使用する電線はφ2.0mmを使用する。径が小さいと電線の焼損や火災の原因になります。

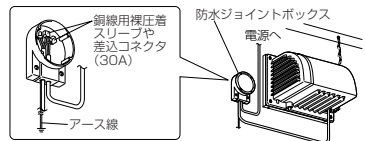
### 警告

- 交流100Vを使用する
- アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を取付ける (感電や火災の原因になります)

### 注意

- 電源コードの接続は確実に行う
- 配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う (火災や感電の原因になります)

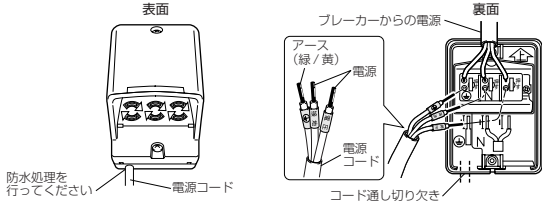
## ■防水ジョイントボックス (市販品) 内で結線する場合



## ■防水コンセント (市販品) の連結端子台に接続する場合

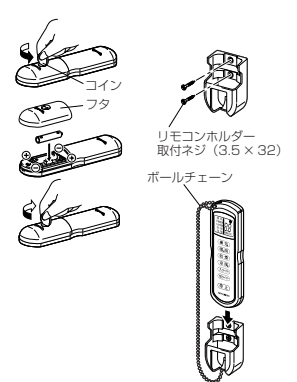
- 電源コードの先端を、防水コンセント裏面の連結端子に直接接続する。

### 防水コンセント



## 6 リモコンホルダーの取付け

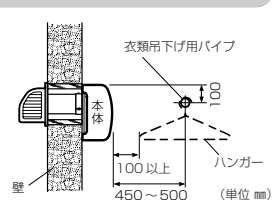
- 1 リモコンに付属の単4アルカリ乾電池2本を入れてフタをすばししっかりと取付けてください。
- 2 リモコンホルダーを付属のネジ2本で固定する
  - リモコンは生活防水 (JIS C 0920 保護等級5相当) ですが、浴槽の上や直接水やお湯がかかる位置には取付けしないでください。
  - 浴室に付けるか、脱衣室に付けるかはお客様と相談して決めてください。



- 浴室に付ける場合
  - リモコンはホルダーに入れたままでもスイッチが押せます。なるべくホルダーに入れたままでも本体を操作できる位置に取付けてください。
  - チェーンを付けた状態でリモコンが床に届かない高さに取付けてください。
  - 浴槽の上や直接お湯や水がかかる場所には取付けしないでください。
  - ネジ穴は必ずコーティング処理を行ってください。
- 脱衣室 (浴室以外) に取付ける場合
  - チェーンをはずして使用してください。

## 7 衣類吊下げ用パイプ (市販品) 取付け

- 右図の位置に取付ける
  - パイプ (市販品) は、1本当たり耐荷重4kg以上で、耐火性・不燃性のものを使用する
  - また、取付け部分が十分に強度のあることを確認してください。
  - パイプの取付け位置は必ず図の寸法で取付ける
  - 指定以外の寸法で取付けると、乾燥時間が長くなります。
- 本体から吊下げパイプまでの距離は450mm以上とし、かつ、ハンガーを掛けたとき100mm以上確保できる寸法で取付けてください。
- 近づけすぎると衣類の変色や変質の原因になります。



## 試運転

- 取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか、ご確認ください。
- 次に、取扱説明書の「使いかた」を参照して、お客様立ち会いで全運転モードの試運転を行い、下記をご確認ください。

- 1 本体は確実に取付けられていますか?
- 2 リモコンを操作して、取扱説明書どおり動作しますか?
- 3 換気ファンは運転していますか?
  - 換気部中継コネクタが正常に接続されていないと運転しません。
- 4 運転中に振動や異常音がありませんか?

- 引き渡しまで期間がある場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、この「取付工事説明書」は別冊の「取扱説明書」とともにお客様にお渡しください。